



〔日時〕

令和8年

11/21 (土)

13:30 ~ 16:20

(受付 13:00)

お申し込みはこちら



または FAX:022-262-1948

自分を律することが難しい子ども達

～自律を妨げるもの、自律を支えることとは～

〔会場〕 -----

EARTH BLUE 仙台勾当台

8階 第1会議室 (定員70名程度)

(仙台市青葉区上杉1-6-10)

※駐車場はございません

〔対象〕 -----

里親制度や社会的養護に関心のある方をはじめ、子育て中の方など、どなたでもお申し込み頂けます。

〔申込〕 -----

公式サイト問合せフォーム、またはFAXにて、参加者全員の、お名前、所属、ご連絡先をお送り下さい。また、託児希望の方は、お子さんのお名前、性別、年齢の記入もお願いします。(締切:11/18)

〔託児〕 -----

若干名(里子優先となります/無料)

〔お問合せ〕 -----

仙台市ほほえみの会事務局

TEL:022-223-2142 FAX:022-262-1948

〔プログラム〕 -----

①里親制度説明(10分)

・みやぎ里親支援センターけやき

②基調講演(60分)

「やる気のもと。～自己肯定感を育むコツとは～」

・講師: 畠山 明氏(個別教室のアップル代表取締役)

③パネルディスカッション(80分)

「自律と自立を支えるために」

・藤田 毅 氏(仙台市社会的養護施設協議会 会長
社会福祉法人仙台キリスト教育児院 丘の家子どもホーム園長)

・中山 崇志 氏(特定NPO法人まきばフリースクール理事
自立援助ホーム「峠のまきば」・「ドリーム」ホーム長)

・弓削 恵則 氏(NPO法人オペレーション・プレッシング・ジャパン(OBJ)
国内災害支援・人道支援ディレクター)

・中嶋嘉津子 氏(仙台市ほほえみの会会長/全国里親会副会長)



〔主催〕 **仙台市ほほえみの会**

〔協力(予)〕 丘の家乳幼児ホーム、宮城県済生会みやぎ乳児院、仙台天使園、
ラ・サール・ホーム、小百合園、丘の家子どもホーム、
みやぎ里親支援センターけやき、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

〔ある里親の嘆き。あるいは多くの里親の代弁〕

もちろん、楽しい日も、幸せな時間もあるけれど

2日前は、だだ、眠いだけで
蹴って、殴って、泣かせて、暴れて、暴れて、暴れて、暴れて
今日も、ただ、遊びに行きたくて、暴れて、暴れて、
こちらが距離をとったらとって、気を惹きたくて、
窓に石を投げつけて、思いもよらず割っちゃって

ずっとゲームや配信で、見事に昼夜逆転で、
風呂にも入らず、着替えもせず、
自分が臭いのは気にもならず、
そのくせ、ピアスをあげ、
ヘアアイロンでは満足できず、1万円の縮毛矯正
まっ、いいですけどね、と言いつつも、
やっぱり“ね”がつく私の気持ち

まだ、かわいいものかもしれないけど、
なんなの、いったい

自分のものさしを必死に奥にしまい込み、
愛情もって、気持ち使って、勉強もして、
時間もお金も使って、いろいろ頑張るけど、
結局今日もこの始末

愛着からくる課題、被虐待体験のトラウマ、きっとそう
低い自尊心、低い自己肯定感、それも分かっている
だからと思って、甘えの受け入れを頑張ってみても、
次から次へと底なしで、あれ？これってもしかして逆効果？
いづれにしても、このままでいいわけもなく

まるで、砂漠に水を撒くような毎日で、
でも、撒かなきゃ確実に枯れちゃうし
これじゃ、心が持ちません

思春期にもなれば、自立がチラチラ頭をもたげるも、
そう感じているのは里親だけで
生活的自立、経済的自立、精神的自立、
あれやこれやと世話をやいても、結局は本人次第
自律心や自制心、やる気がなければどうにもならず
しまい、積み重ねてきたつもりのものさえ、
次第に増してくるDNAの加勢もあってか、
あっという間に崩れかけ

社会を見回しても、いい大人の情けない事件が毎日で、
日本や世界の指導者も、利己的で自己中で目にある
言いたくないけど、社会に出た若者たちも、
他責傾向で、権利は主張しても義務は果たさず
キャリアアップを履き違えたまんま浮遊する
もちろん立派な若者も沢山いるので、そこはごめんなさい

世代のせいなのか、多様性とか、個性重視とか、
それは正しいし、理解できるが、
溢れだす情報と罵り合う価値の海原で、
とりつく島もなく、とりつくべき島もわからず
やっとのことでしがみついた、小さな、小さなコミュニティ。
助かったのか、そうではないのか

個の尊重と耳障りのいいことを並べてみても
結局は自己責任、親の責任と片付ける社会の風潮
味方の振りして、手を差し伸べることは決してしない
すぐそばに安心できる陸地が、いつでも待っているというのに

自律なしに自立なんて成り立つの？
自立についての研修会は度々あるが、
自律に焦点を当てたものは見当たらない

なぜ？ タブーなの？
それ言っちゃったらおしまいだから？
そんなこと分かったら、だれも苦労しないよ、
みんながそう思っている
特効薬も正解も、きっとないのだろう
そもそも、里親だけで抱えられるものではないのかもしれない

でも、せめて、この愛すべき子ども達を諦めることなく、
自分自身を責めたて、無力感、徒労感に苛まれることもなく、
きっといつか、何かしらの形で訪れてくれるであろう、
自立とその幸せを信じて、
どっしりと付き合ってあげられるだけの、明るく、しなやかな心持ち、
それを支える、こころの栄養が欲しいのです

自律を妨げるものとは、なんなのか、自律を支えることとは、なんなのか
里親の役割とは、社会の役割とは

里親子に限らず、日本全体が抱える課題とも言えるこのテーマについて、
広く市民のみなさんと、一緒に考えていきたいと思っています

〔登壇者プロフィール〕

〔基調講演 講師〕



畠山 明氏

個別教室・家庭教師のアップル 代表取締役
一般財団法人学習能力開発財団 理事長
公益財団法人せんだい男女共同参画財団理事
仙台市小学校 学校評議員、他

昭和43年宮城県生まれ。東北大学大学院修了。県内の公立学校で教員として勤務したのち、一人ひとりのニーズにあわせた教育サービスを提供する「個別教室・家庭教師のアップル」を1996年に創業。学校や企業の依頼を受け、子どもや社員のやる気を高める講演を行っている。著書「やる気のもと。」「やる気のもと2」（河北出版センターより出版）子どもや保護者の自己肯定感を育む取り組み等で、仙台「四方よし」企業大賞「大賞」受賞。



〔パネラー〕

藤田 毅氏

仙台市社会的養護施設協議会 会長
社会福祉法人仙台キリスト教育院
「丘の家子どもホーム」園長

1992年に、児童養護施設丘の家子どもホームに児童指導員として入職。
2000年に、地域小規模児童養護施設かりんの家の開設に伴い異動。2010年にはかりんの家の移転を機に夫婦で住み込み子どもたちと起居を共にする。2016年に丘の家子どもホーム副園長を兼務。2024年より現職。

〔パネラー〕

中山 崇志氏

特定NPO法人まきばフリースクール理事
自立援助ホーム
「峠のまきば」「ドリーム」ホーム長

2012年より自立援助ホーム峠のまきばホーム長、2022年よりドリームホーム長を兼務。15歳から概ね20歳の高年齢児童の生活・自立支援を行っている。サッカー・フットサルを通じた自立支援にも取り組み、2024・25年に開催されたホームレスワールドカップソウル・オスロ大会で日本代表監督を務める。

〔パネラー〕

弓削 恵則氏

NPO法人オペレーション・プレッシング・ジャパン(OBJ)
国内災害支援・人道支援ディレクター

国際NGOのOBJにて、東日本大震災以降、国内の災害支援や生活困窮者支援に従事。
被災地での支援活動に加え、福祉施設や地域団体、地域教会等と連携し、災害時にも地域の支援を継続できる体制づくりや、平時からの防災・減災の取り組みを進めている。

〔パネラー〕

中嶋 嘉津子氏

仙台市ほほえみの会会長
全国里親会副会長、専門里親

平成21年に養育里親登録。専門里親。令和4年に、ファミリーホームエールを開設。
現在は、仙台市ほほえみの会会長として、また、本年度からは全国里親会副会長として、子どもの最善の利益はもちろん、里親支援、里親制度の向上のために、精力的に取り組んでいる。